目標達成計画

作成日: 令和 7年 4月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	「重度化や終末期に向けた方針の共有と支援」については現状としては職員間での意思統一はしっかりとできておらず、重要事項説明書において記載はしているものの、現実には重度化した場合、もしくは終末期の対応が難しい状況である。	ご利用者が重度化したり、または終末期を迎えた場合、今のグループホームにおいて最大限にできることは何か、どこまで対応させていただかを職員全員で共有し、ご利用者やご家族が安心して生活できるように支援する。	①重度化、終末期(看取り)についての対応について研修会を定期的実施する。 ②重度化、終末期の対応がどこまで可能かを検討し、全職員が統一した認識を共有する。 ③重度化、終末期(看取り)に対しての知識、技術の向上のための研修を実施する。	12ヶ月
2	4	2ヶ月に1回開催の地域運営推進会議の現状は地域の民生委員さん、地域の代表、市民センターの館長さん、地域包括支援センターの職員さんに参加して頂いていますが、ご利用者様やご家族様には参加いただけていないため、より良い運営を行う為にはご利用者様やご家族様の出席をいただき、貴重なご意見を伺えるようにしたい。	以前はご利用者様にも地域運営推進会議に出席して頂いていたが、認知症の関係もあり、会議の途中で精神的に不安定になったことから、ご利用者様は無理をせず、代わりにご家族様に出席していただき家族の代表としてご意見等を伺えるようにする。	ご利用者様のご家族様の中で、地域運営推進会議に参加して頂ける様な方をピックアップし、個別に会議の内容や必要性、重要性等を説明し、参加していただけるようにする。(毎回の出席が難しくければ、年に数回でも参加していただけるようにする。)	6ヶ月
3	8	「権利擁護に関する制度の理解と活用」について、職員としては内部研修、外部研修などから十分とは言えないものの、知識としてはある程度理解できているが、ご家族様や、関係者の方々に対しての活用までできていない。	認知症高齢者に関わる施設として、権利擁護や成年後見制度などの知識を内部だけの問題とせず、ご利用者様、ご家族様、関係の方々へも幅広く、制度の内容などをお知らせできるようにする。	市役所、区役所、地域包括支援センター等のご協力をいただくと共に、内部、外部研修などで学習した内容や、パンフレット、案内などを活用して、施設の掲示板に掲げたり、自由に閲覧できるようにする。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注)完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。